

ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
「土と人情」に囲まれた。ナナミ
ちゃんの「私、土の子」奮闘記



毛ずくろい毛
玉1ツ個の肌
寒さ ニャン
06.07撮影

1 晴れの日続けば水遣いを



05.25←雨の朝カッパを着て、雨水タンクから開墾畑のタルやバケツに分けて貯め↑

「畑仕事はお天気まかせ」種の蒔き時、苗の植え時など野菜それぞれに時期がある。時期を逃せば生育や収穫に影響がでます。種蒔きは、発芽して育ち霜降る前に収穫を終えられる時期を逆算。野菜苗は晴れが続けば、朝晩の水遣りが欠かせない。風除けや土寄せなどの畑仕事も。お天気だけに任せてはおけません。



←←05.28 庭畑のゴーヤにレタスなど、←お宿前のスッキーニにスイカなど野菜に水遣り一晴れが続けば夕方などに畑の野菜にも



↓06.02ジャガイモの初収穫



←06.04庭畑の乾き具合を見て水遣り\ルッコラにサラダ菜レタスにグリーンレタスとサニーレタスも大きく育ってきた。野菜サラダに欠かせぬ食材



↑05.31スッキーニの収穫



目次

1 晴れの日続けば水遣いを	1
2 「ナナミちゃんのお宿」は?	1
3 エンドウ豆の季節が終り	2
4 エコハウス私論	2
5 六月のお味	2

ハイライト

5月31～6月4日「麦秋至ばくしゅういたる」麦が熟して収穫する頃という意味。今は少なくなった田舎の景色です。「エコハウス私論」小林 光 著を読みエコな生活に努め?よ うと考えるト、本書の抜粋や要約



06.08少なくなった景色、明野の麦秋 麦畑。

になり『家の建て替えに不可欠な、一時的な引越しと不用品の処分。筆者も両親の不用品処分や古い家の解体と更地返還や換地、地盤調査などを経て、いよいよエコハウスの核心へ。エコハウスの基礎体力として、頑健な基礎と構造、断熱などの熱性能、気密性、素材の四点は、どんな家を建てるのであれ、見逃せないポイントだ。エコ度を高める上では、そうしたポイントを押さえるのはもちろん、それだけではなく、せつかく降り注ぐ太陽エネルギーなどの自然の恵みをもっとアクティブに、貧欲に使ってみたいものだ。太陽エネルギーを熱へ変換する方法より効率が良いが、蓄熱した温水や温風などは、他の形のエネルギーへと再変換はできず、使う場面が制約される点に難がある』4へ続く

2 「ナナミちゃんのお宿」は？

→テーブルフラワーは花香るコリアンダー
→カカの野菜畑サラダには空豆アスパラ、育ち盛りの人参に保存熟成した「インカのめざめ」サラダ菜類



↑ササゲ豆がふっくら炊けた→ふっくら柔らかササゲご飯、蒸していないのでご飯もモチリおいしい。本日の営業↑も終り閉店に。



一日一組限定のランチも楽しく終り本日閉店、「一月一組のランチだね」遅い昼食を食べながらカカトトの会話……

